



## 式根島での防災キャンプへ参加



港出張所では、今後も学校での防災教育等に積極的に参加し、自衛隊を身近に感じて貰い、当該年度のみならず数年先の入隊希望者獲得に向けた活動を積極的に継続していくとします。

自衛隊東京地方協力本部 港出張所（所長 一瀬 1 陸尉）は 10 月 16 日及び 17 日、式根島において開催された防災キャンプに式根島学園 P T A の依頼により初めて参加し、島内各校の小中学生、その保護者及び教職員に自衛隊の魅力伝え、防災講話、各種訓練体験を実施した。防災講話においては、地震及びそれに伴う津波への対策を中心に説明し、海に囲まれた地域であることから、参加者は興味深く聞いているようだった。各種訓練体験については、基本教練・自衛隊体験の体験を行うとともに、空挺隊員出身の広報官が特性を活かし空挺5 接地転回法着地の展示を行うと会場は歓声に包まれた。参加者からは「着地するのに順番があるとは思いませんでした。」「朝の体操が難しかったけど面白くて楽しかったです。」という声がかかれた。また、高等工科学校に関する質問もあり、「子供の進路に検討したい。」という保護者もあり、自衛官等の採用案内も行うことができた。保護者もあり、自衛官等の採用案内も行うことができた。



## 学園祭で自衛隊の魅力を広報

自衛隊東京地方協力本部世田谷募集案内所（所長 巻口 3 陸佐）は 11 月 5 日・6 日の 2 日間、日本大学三軒茶屋キャンパスにおいて 3 年ぶりに行われた三茶祭（学園祭）において危機管理学部と連携し広報活動を行った。当日は、学生考案の「三茶 C B R N レスキュー 2022」と銘打った特殊武器防護訓練展示を中央特殊武器防護隊・警視庁・東京消防庁と共同で実施した。会場ホールの 1 F から 3 F まで多くの観覧者が集まり、有害物質を用いたテロへの迅速な対応に釘付けとなっていた。また、危機管理学部吉富セミの特殊武器防護に関する研究成果発表と併せて、中央特殊武器防護隊及び第一普通科連隊の協力を得て除染装備品や車両の展示を行い、多くの来場者の目を引いていた。さらに、特設ステージにおいて、日本大学出身の第 1 音楽隊長新田 1 尉の指揮のもと第 1 音楽隊・東部方面音楽隊・第 12 音楽隊の特別編成による演奏が行われ、会場は立ち見客が出る程の盛況振りであった。来場者からは「自衛隊の装備や能力を間近で見ることができ勉強になった。」や「自衛隊を職業の選択肢のひとつとして考えたい。」などの声がかかれた。世田谷募集案内所では、今後も募集対象者のニーズに応じた活動を行うとともに、学校と連携した広報活動を実施して防衛省・自衛隊に対する理解を深め、自衛官志願者の増大を図っていくとしている。

